



第1回 阪神大震災から学ぶ — 神戸からのメッセージ

東日本大震災から2年半が過ぎ、東北の再生に向けての加速度を高める時期にきています。
震災からの復興を多角的に考える連続シンポジウムの第1回は阪神大震災からの再生に向き合った
神戸の企業の知見をもとに東北の復興の視座を探ります。

日時 **2013年11月6日(水)** 14:00~16:00 (開場/13:30)
会場 **東北大学百周年記念会館川内萩ホール**
(仙台市青葉区川内40)

参加者募集
定員1000名
入場無料

基調講演

「セレンディピティ — 逆境をチャンスに変えるカ —」



オリバーソース株式会社取締役社長 道満 雅彦氏

1952年生まれ。甲南大学経営学部卒。1975年オリバーソース(神戸市)入社。1923年創業の同社は日本で初めてどんかつソースを開発・販売したことで知られる。阪神大震災では本社・工場が全壊、ソース製造設備はことごとく倒壊という壊滅的な被害を受けながら、唯一残った貯蔵タンクで長期熟成させた「10年仕込みソース」を作るなど、高付加価値商品の開発・販売強化に着手し、同社が生まれ変わるきっかけとなった。91年代表取締役社長。神戸経済同友会副代表幹事などを務める。

パネルディスカッション

◎パネリスト/オリバーソース株式会社取締役社長 道満 雅彦氏



(株)オйкаワデニム
代表取締役社長
及川 秀子氏

1946年生まれ。81年デニム縫製業のオйкаワデニム(気仙沼市)創業。91年代表取締役社長。製造を手がけた「リーバイス501」などの品質が評価され、2005年には自社ブランドを立ち上げる。12年日本政策投資銀行主催「女性新ビジネスブランドコンペティション」で女性起業家復興賞受賞。



東北大学大学院経済学研究科教授
地域イノベーション研究センター長
藤本 雅彦氏

1959年生まれ。99年東北大学大学院経済学研究科博士課程経営学専攻修了。経済学博士。日本リクルートセンター(現リクルート)勤務を経て、2004年東北大学大学院経済学研究科助教授、07年同教授。11年から地域イノベーション研究センター長。専門は経営組織論および人材マネジメント論。

◎コーディネーター/河北新報社編集局長 鈴木 素雄

●応募方法/参加ご希望の方は、郵便番号、住所(聴講券送付先)、氏名、年齢、電話番号、参加希望人数(2名まで)を明記のうえ、はがき、ファクス、Eメールにてご応募ください。応募者多数の場合は抽選となります。聴講券の発送をもって当選通知とさせていただきます。

●応募先/河北新報社企画事業部「東北復興セミナー」係
○はがき:〒980-8660(住所不要)
○ファクス:022-211-1221 ※係名記入
○Eメール:j-oubo@po.kahoku.co.jp ※係名記入
●応募締切/10月21日(月)必着
※ご記入いただきました個人情報、本セミナー以外の目的では使用いたしません。

お問い合わせ

河北新報社企画事業部
TEL022-211-1332
(平日10:00~17:00)

主催/三井住友銀行、河北新報社、東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センター

本セミナーのポイント — 阪神大震災からの企業再生に学ぶ—

- 阪神大震災、東日本大震災に遭遇した地域企業がいかにその困難に対応したのか。
- 「ピンチをチャンスに変える」局面とはどのようなものであったか。
- 地域企業が国内外の広いマーケットに進出し、成果を収めるためのヒントはいかなるものか。

再生、阪神大震災から学ぶ

東日本大震災からの東北再生の方向性を考える連続シンポジウム「東北復興セミナー」が11月、仙台市で始まります。河北

新報社、三井住友銀行、東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センターの共催で、第1回は6日午後2時から、

青葉区の東北大百周年記念会館・川内秋ホールで開催します。初回のテーマは「阪神大震災から学ぶ―神戸からのメッセージ」。基調講演では「セレンディピティ(偶然に思いがけないものを発見する能力)」を題してオリバー・ソース(神戸市)の道満雅彦社長が登場。1923年に創



道満 雅彦氏



及川 秀子氏



藤本 雅彦氏

業、日本で初めてとんかつソースを開発・販売した老舗企業の震災後の取り組みを紹介します。パネル討論では道満氏のほか、地場資源を生かして製造したジーンズが高く評価されているオйкаワデニム(気仙沼市)の及川秀子社長、東北復興の現状

東北復興セミナー

仙台で来月から 基調講演や意見交換

を調査・研究している東北地域イノベーション研究センター長の藤本雅彦氏が意見交換。コーディネーターは河北新報社の鈴木素雄編集局長が務めます。参加申し込みは電子メール、ファクス、はがきで受け付け。郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望人数(2人

まで)を明記し、〒980-0186 660 河北新報社企画事業部「東北復興セミナー」係、022-2211-1121(ファクス)、foubo@po.kahoku.co.jpへ。定員は1000人で21日締め切り。応募者多数の場合は抽選とし、聴講券の発送をもつて当選通知に代えます。

2013年10月7日付
河北新報朝刊

【参加お申込み方法】

Eメール、ファクスで受け付けます。

・Eメール J-oubo@po.kahoku.co.jp

・ファクス 022-211-1221

F A X 申込フォーム 022-211-1221

河北新報社企画事業部「東北復興セミナー」係行

住 所 〒
団体名・企業名
お名前（ご担当者名）
参加希望人数

◎10月26日までのお申込みは事前に聴講券を送付いたします。

◎10月27日以降にお申込みの方は当日会場で受け付けをさせていただきます。

お問合せ 河北新報社企画事業部 松本、千葉 TEL022-211-1332【平日 10:00~17:00】